

10月下旬から

ごみ集積所の

一斉調査を実施

環境課 ☎(235)4922

家庭系ごみの一部有料化と戸別収集の開始から1年が経ちました。減量効果が表れる一方で、一部のごみ集積所は不法投棄やルール違反など、適正な管理がされていない課題も出てきました。

市は、ごみ集積所の管理状況を把握するため、10月下旬から11月にかけて、一斉調査を実施します。調査結果により、利用者へ改善を提案することがあります。ご協力をお願いします。

ごみ集積所は利用者で維持管理を

ごみ集積所の管理は利用する皆さんが行うものです。定期清掃や不法投棄対策などを行います。

市は、維持管理用の飛散防止ネット・不法投棄禁止の啓発看板・外国語版分別ガイドブックなどをお渡しします。環境課へ相談を。



制度開始から1年 ご協力ありがとうございます

制度開始から1年間、大きなトラブルもなく減量効果も順調に表れ、燃やせるごみの搬入量は開始前と比べ、約15%削減されました。

また、美化センター・資源化センターへ届けられた応援メッセージには、職員一同日々励まされています。今後ご理解とご協力をお願いします。



風水害の発生に備え マイタイムラインの作成を

図危機管理課 ☎(235)4790

マイタイムラインの作り方

マイタイムラインとは、風水害の発生に備え、自分や家族がとるべき行動を時系列で示した避難計画です。いざという時、慌てることなく「いつ」「誰が」「何を」するのかをマイタイムラインで整理しておきましょう。



防災ガイドブックページ

防災ガイドブックの20ページのマイタイムラインに記入しましょう。防災ガイドブックは、海老名市防災ホームページからダウンロードできます。

ステップ1 自宅の状況を確認する

ハザードマップで自宅(周辺)が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っていないか確認しましょう。

ステップ2 避難する場所を決める

新型コロナウイルス感染症防止を視野に入れ、「避難先＝避難所」の固定概念にとらわれず、自宅の安全な場所や、知人・親類宅などへの避難を検討しましょう。

ステップ3 避難開始のタイミングと行動を考える

家族の状況や避難情報から、いつ・何をすべきかを検討しましょう。家族に高齢者や乳幼児など要配慮者がいる場合は「警戒レベル3」の段階で避難を始めましょう。

